

Bird's eyes view: **I.** 神の民の一を守るために、私たちは神の選ばれた唯一の場所で、神と共にキリストを享受します。召会として集会するために、十字架を経験して、自己を十字架につけ、「神の知識に逆らい立っている議論や、あらゆる高ぶりを破壊し」、キリストだけを高く上げなければなりません。**II.** エルサレムという唯一の立場、神の住まいとしての宮がシオンの山の上に立てられた場所は、神の選ばれた唯一の立場、一の立場を予表します。**III.** 一の立場にある召会生活は、今日のエルサレムです。召会生活の中には、一群れの勝利者がいなければなりません。これらの勝利者は、今日のシオンです。召会生活の中にあることは一つの事であり、勝利者になることは別の事です。**IV.** 私たちは、個人的にキリストの上で労苦する生活、キリストを享受する生活をする必要があります。それによって私たちは、集団的に共に彼を享受して、キリストのからだを神の家として建造し、神に表現を得させ、また神の王国として建造して、神に支配を得させます。**V.** 私たちは今日の勝利者になるためには、一の立場、すなわち、神の唯一の選びを維持しなければならず、キリスト以外のどんなものも高く上げてはなりません。

Crucial Point(1): **ミングリングされた霊の中と**

地方合一の立場で集会し、一を保ち祝福を得る

OL1: 神の民は常に一であるべきです。彼らの間には、分裂があるべきではありません。神の民がその中へと集まるべき唯一の御名は、主イエス・キリストの御名であり、その御名の実際はその霊です。他のどのような名称を用いても、宗派的であり、分裂的です。これは霊的淫行です。

OL2: 新約において神の住まい、神の住む場所は、特に私たちのミングリングされた霊の中に、すなわち、神聖な霊によって再生され、内住された私たちの人の霊の中に設けられています。私たちは神を礼拝する集会の中で、私たちの霊を活用し、あらゆる事を私たちの霊の中で行なわなければなりません。

OL3: 私たちは神を礼拝するとき、祭壇によって表徴されるキリストの十字架を真に適用し、肉、自己、天然の命を拒絶し、ただキリストをもって神を礼拝しなければなりません。

OL4: 外見上は、私たちは地理によって分けられています。なぜなら、私たちは、聖書に基づく地方の立場の上で、全世界の別々の都市で集会しているからです。

啓1:11 …七つの召会に、すなわち、エペソに、スミルナに、ペルガモに、テアテラに、サルデスに、ヒラデルヒヤに、ラオデキヤに送りなさい」。私たちはみなイエス・キリストの御名の中で集まり、みなミングリングされた霊の中で(聖霊が内住する再生された人の霊の中で)集会します。私たちが共に集まるのはこの霊の中であって、私たちの観念、願望、えり好み、選択の中ではありません。…召会の入り口には

十字架があります。私たちは召会として集会するために、十字架を経験しなければなりません。肉、自己、天然の人は、召会の中にあることはできません。それらは十字架につけられなければなりません。ですから、私たちは主イエスの御名の中で、ミングリングされた霊の中で、十字架をもって集会するのです。

一つの都市には多くの集会所や地区があるかもしれませんが、ただ一つの召会があるだけです。大きな地方では、エルサレムに在る召会のように、召会はさまざまな場所で集会するかもしれませんが。初期のころ、聖徒たちは自分の家で集会していましたが、各家での集会は召会ではありませんでした。さまざまな家庭でのすべての集会は一つの召会の集会でした。…私たちは主日の朝に数か所の集会所に分かれて集会するかもしれませんが、数十軒の家庭で祈りの集会を持つかもしれませんが、それでも一つの行政と一つの証しを伴う一つの召会です。宇宙にはただ一つの召会だけがあるので、どの定められた場所にも召会のただ一つの表現だけがあります。これが召会の立場です。

適用: 在職青年・大学院生編

旧約の時代、神の民の間の一を保つため、彼らは自分たちが選んだ場所に集まることはできず、ただエルサレムに集まるのが要求されていました。このエルサレムは今日では、**①** 私たちの人の霊、**②** 宇宙的な召会の一(召会の内容)と地方の一の立場(召会の実行)です。

ヨハネ4:23 しかし、真の礼拝者たちが、霊と真実の中で父を礼拝する時が来る。そしてそれは今である。父はそのように彼を礼拝する者を、捜し求めておられるからである。**24** 神は霊であるから、彼を礼拝する者は、霊と真実の中で礼拝しなければならない。

神は霊と真実の中で、礼拝する人を求めています。ここの霊は人の霊であり、真実は旧約のすべてのささげ物の実際であるキリストのことを言っています。あなたは自分の霊を活用し、霊なる神に触れ、真のささげ物であるキリストをもって礼拝すべきです。魂の中には自分の好みや選択があります。例えば、「私は外国人の信者より日本人の信者の方が良い」、あるいはその逆で「私は日本人の信者より英語を話す信者の方が良い」、または「私は社会的階級の高い信者の方が良い」、「自分の好みの方が良い」、「自分の好み合わない人がいる所は良くない」等の感覚は魂からのものです。魂の感覚を十字架につけて、霊の中で集まらなければ神の民の一を保つことはできません。

また召会の実行面で、人々はそれぞれの地方に住んでいるので、その地方で一を保たなければなりません。召会はキリストの花嫁であるので、キリスト以外のいかなる名も召会につけるべきではありません。例えば、「**コリントに在る神の召会**」(**I コリント 1:2**)とあります。これはコリントという地方に住むすべての信者に開かれている召会で、神に属しています。召会は神のもの、キリストのもの、あるいは聖徒たち

のものであり、それ以外のどのような人、どのような制度も召会の名称に付け加えてはいけません。それは分裂であり、霊的姦淫です。あなたは自分の霊の中と、地方における宇宙的からだの表現の合一の立場の中で、礼拝しなければなりません。

祈り:「おお主イエスよ、父なる神は真実な礼拝者を探し求めています。それは『私の霊の中』で、キリストをもって神を礼拝する者です。またそれぞれの地方で一の立場にしっかりと立ちます。私は神の子供たちの一を、自分の霊の中と『コリントに在る神の召会』の原則の中で保ちます。どうか主がこの一のゆえに私たちの召会生活を祝福して、また召会生活の中の全ての個人をも祝福してください。」

Crucial Point(2): コロナウイルスによる緊急事態宣言下で、キリストを all-fitting life として経験し、急激な変化に対応することができる勝利者となる

OL1: 一の立場にある召会生活は、今日のエルサレムです。召会生活の中には、一群れの勝利者がいなければなりません。これらの勝利者は、今日のシオンです。

OL2: シオンとしての勝利者は、キリストのからだの実際であり、諸地方召会の中でからだの建造を究極的に完成し、永遠における究極的に完成された聖なる都である新エルサレム、すなわち、神の住まいとしての至聖所をもたらします。

OL3: 召会生活は、私たちが勝利者になる正しい場所です。しかしこれは、私たちが召会生活の中にいさえすれば、勝利者であるという意味ではありません。召会生活の中にいることは一つの事であり、勝利者になることは別の事です。

シオンは、聖なる都である召会の高嶺、中心、引き上げるもの、強めるもの、豊かにするもの、実際です。もし地方召会に勝利者がいなければ、その召会はシオンのないエルサレムのようなものです。…地方召会には何人かの勝利者がいなければなりません。これらの勝利者は、その地方召会の頂であり中心です。彼らはその地方召会の引き上げるもの、強めるもの、豊かにするもの、実際です。…いったん召会が勝利者としての何人かの全時間の働き人を持つなら、その召会はシオンの頂を持つエルサレムのようになるでしょう。

シオンとしての勝利者は、召会の最高嶺、中心、実際です。今日のシオンとしての勝利者は、聖なる都(召会)の究極的完成のためです。彼らは地方召会の建造を究極的に完成し、成し遂げ、永遠において究極的に完成された新エルサレムをもたらします。からだの建造を完了するために、主は勝利者を必要とされ、からだの建造は新エルサレムにおいて究極的に完成します。

今日、二つの道が私たちの前にあります。私たちは、バイタルにされる道を選ぶことができ、バイタルにされない道を選ぶこともできます。私は、私たちの前にこれら二つの道を提示しています。どちらの道を取るでしょうか？ あなたはバイタルにされようとし

ているでしょうか、それともそうではないのでしょうか？ 私たちは決意しなければなりません。**士師記 5:15** でデボラは言いました、「**ルベンの支族の間では、心に大きな決意があった**」。私たちは勝利者、バイタルにされる者となる決意をしなければなりません。勝利者は、キリストに置き換わり、キリストに反対するすべてのものに勝利します。聖書には、勝利者の時代があり、勝利者に対する召しがあります。

適用: 青少年・大学生編

エルサレムは今日の召会生活を表徴し、エルサレムの中のシオンは召会の中の勝利者を表徴します。召会生活と勝利者の関係は、エルサレムとシオンの関係から見ることができます。シオンはエルサレムの高嶺、引き上げ、麗しさです。同様に召会の中の勝利者は、召会の高嶺、引き上げ、麗しさです。

あなたの前には、勝利者になる道と、敗北したクリスチャンになる道があります。あなたは自分の道をよく考慮して、歩むべき道を選択すべきです。学生の本分は勉強ですので、あなたは勉強を避けて通ったり、勉強をいい加減に扱ったりしてはいけません。

4月7日に緊急事態宣言が発令(5月6日まで)されました。指定地域は関西では大阪と兵庫です。これらの地域では小中高校、大学は休みとなり、ホームワークが課せられることになりました。遠くに行くことは原則禁止され、行動が極端に制限されます。この状況は非常事態宣言の指定範囲内では、誰でも同じです。あなたはキリストがすべての状況に適合できる all-fitting life であることを知り、経験してください。

祈り:「おお主イエスよ、非常事態宣言により4月になっても学校が休みになり、外出を制限される中で、私は今まで経験したことのない状況に面しています。しかしこの状況は、私があなたを all-fitting life として取ることを助けると信じます。私の天然の命ではコロナウイルスによる非常事態宣言に適合することができません。私はあなたに開きます。あなたを急激な変化に対応する命として経験できますように。主よ、あなたの召しに答えて勝利者になる道を取ります。アーメン! 1ハレルヤ!」

例えば、あなたは学校に行かないで、授業やクラスメートなしでホームワークをしなければなりません。勉強の士気が上がりにくいので、あきらめてしまうのではなく、主の御名を呼び、しぶとく土俵内(勉強する雰囲気領域内)に留まって頑張ってみてください。主はあなたを力づけることができ、またあなたの変化に対応する柔軟性となってくださいます。あなたの前には簡単にあきらめる道と、主の中でしぶとく土俵内に踏ん張る道があります。あなたはどちらを取りますか？

若者の皆さんは、若い時から聖書に親しみ、勝利者の道を選び、緊急事態の今この時に all-fitting life を経験して対応力をつけてください。この経験は必ず将来役に立ちます。しかしキリストを all-fitting life として取らなければ、緊急事態宣言が終わってもあなたは何も成長していません。

**Crucial Point(3):今日の勝利者になるために、
一の立場、神の唯一の選びを維持し、
キリストだけを高く上げる**

OL1:私たちは今日の勝利者になるためには、一の立場、すなわち、神の唯一の選びを維持しなければならず、キリスト以外のどんなものも高く上げてはなりません。主の回復の中では、私たちはキリストを、キリストだけを高く上げます。

OL2:神の民が荒廃し墮落した内在的な原因は、キリストが彼らによって高く上げられていないことです。彼らはあらゆる事において彼に首位、第一位を与えていません。

しばしば異教徒の礼拝センターは山や丘の上、茂った木の下にありました。(ここでの)山と丘は、キリスト以外のものを高く上げることを表徴します。茂った木は、美しく引きつけるものを表徴します。今日のキリスト教におけるさまざまな礼拝センターは、キリスト以外のものを高く上げます。原則において、これらの礼拝の中心は、山や丘の上、高き所にあります。しかしながら、神の民はシオンの山に、団体の礼拝のために神によって選ばれた唯一の場所に来るべきでした。高き所での礼拝は、イスラエルの子たちをまき散らすことの要因でした。

原則において、私たちはすべての場所、偶像、名を破壊しなければなりません。このように行なうことが、主の目に正しいことを行なうことです。しかし、私たちは自分自身の選択を主張するなら、自分の目に正しいと思うことを行なっているのです。私たちは主を畏れ、彼が選ばれた場所に行かなければなりません。

一の立場は単に一つの都市、一つの召会の事柄だけではありません。一の立場はこれより深く、豊かで、高く、完全です。私たちはみな学ばなければなりません、神はこの宇宙でただ一つの場所を選ばれ、その場所は召会です。キリストを伴う召会は、神の選びの唯一の場所です。コロサイ3:11の言葉を成就するために、他のあらゆる場所は徹底的に破壊されなければなりません。私たちはキリストを伴う召会でないあらゆるものを破壊しなければなりません。そうすれば私たちはただ召会生活の中にいて、キリストを良き地の豊富として享受するでしょう。私たちは神と共にキリストを享受するとき、主の家に植えられます。私たちは成長し、栄えます。これが、クリスチャン生活と召会生活を持つ正しい道です。これが一の立場です。**コロサイ3:11** その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

適用:奉仕者編

コロサイ3:11を実行するためにすべての聖徒たちは自分の文化的思考や、宗教的好みを十字架に付けて、神の唯一の選択、キリストの宇宙的なからだの一と地方合一の立場を取らなければなりません。これはキリストの御名だけを高く上げることであり、他の一切の名や制度を高く上げないことです。

聖書的な実行、例えば長老制度は聖書の中にあり、正しいのですが、それを召会につける名称としてはいけません。長老制度という良い制度をキリストの唯一の御名と同等にすることはできませんし、それは主イエスの御名を引き下げることです。

また、ルターは「免罪符による義認」ではなく、「信仰による義認」を回復した優れたリーダーでした。しかし、「信仰による義認」の根拠はキリストの十字架上の贖いです。「信仰による義認」を獲得するために、ルターに来るのではなく、主イエスに来なければなりません。ですから、ルターの名を主の召会の名称として追加してはいけません。ルターの名を召会に追加することも、主の御名を引き下げることです。

信者は皆、聖書に戻らなければなりません。人の伝統、習慣、経験、好みではなく純粋な聖書の啓示に戻らなければなりません。Watchman Nee兄弟は、「聖書が私たちの唯一無二の標準です」と言われました。聖書の啓示に従って、特別な信条、特別な交わり、特別な名称を持つことは分裂的な働きに関与することです。分裂的な働きは肉の働きでもあります。**エペソ4:1** こういうわけで、主の中の囚人である私は、あなたがたに懇願します。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩きなさい。**2** 謙虚と柔和を尽くし、辛抱強さをもって、愛の中で互いに担い合いつつ、

3 平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保つことを熱心に努めなさい。

ガラテヤ5:19-21 肉の働きは明白です。すなわち、淫行、汚れ、好色、…敵意、争い、しつと、怒りの爆発、党派心、分裂、分派、ねたみ、**詩133:1** 見よ、何とすばらしく、何と喜ばしいことであろう。兄弟たちが和合して住んでいる!**2** それは、頭に注がれた尊い油が鬘に、アロンの鬘に流れ下り、彼の衣のすそに流れ下るようだ。**3** また、ヘルモンの露がシオンの山々に下って来るようだ。まことに、エホバはそこに祝福を命じられた。すなわち命を永遠まで。

どうかあなたが主の憐れみを受けて、主の御名だけを高く上げ、キリストのからだの一を熱心に保つことができますように。**祈り:**「おお主イエスよ、私たち神の民が荒廃と墮落から救われ、キリストのからだの一を保つために、主イエスの御名を高く上げます。聖書の啓示に従って、私の中の「神の知識に逆らい立っている議論や、あらゆる高ぶりを破壊して」ください。私は自分の霊を活用して、十字架を経過して、自分の選択、好みを捨て、神の選ばれた場所、エルサレム、一の立場で集会します。神の民の一のゆえに、私たちの召会生活を祝福してください!」

パンさき2曲目 詩歌補506

- 1 主はひとつの栄ごうの召会を持つ。
われら主にありて分あり、
見よ、宇ちゆうにあるひとつのからだ、
主はわれらをいちとする。
ハレルヤ みからだ、われら その肢たい
すべては完成して、-主はわれらをいちとする。
- 2 孤りつせず団体のあたらしいひと。
主ご自身を完全に表現す。
いま地方だけでなく団体のからだ、
われらはそのうちにある。
ハレルーヤ、みからだ、サタンをおびやかす。
からだにあり勝利、われらはそのうちにある。
- 3 主の神せいな性しつがあらわれる、
ななつの金のしよくだいに。
からだの生かつに天然の存在なし、
ひかり発し照りかがやく。
ハレルーヤ、みからだ、そは金のしよくだい、
いたるところにて、ひかり発し照りかがやく。
- 4 いかにしんせいになり、かがやくか、
いかにいちとされるのか？
主はいのちの木、新せんえんせき、
日々イエスを食べるはみち。
イエスを食べていち、イエス食べ聖とされ、
イエス食べかがやく、
ハレルヤ、イエス食べるみち！

- 1 哦，基督有一榮耀召會，我們有分於她—
何等喜樂，主使我們合為一！
看哪，在宇宙中有一身體，我們屬於她—
阿利路亞，主使我們合為一！
阿利路亞，榮耀身體！我們是身體的肢體！
一切完全為這身體！
阿利路亞，主使我們合為一！
- 2 不是單獨孤立基督徒，乃是團體新人—
神需要她完全彰顯祂自己！
不僅是一個地方召會，乃是整個身體—
阿利路亞，我們在這身體里！
阿利路亞，榮耀身體！使撒但戰抖的身體！
在身體里我們得勝！
阿利路亞，我們在這身體里！
- 3 神那完全聖別的性情，顯在七金燈臺—
身體生活不容 天然的存在。
我們合一且有分神性，金燈臺就照耀—
阿利路亞，她正發光且照耀！
阿利路亞，榮耀身體！這個身體是金燈臺！
處處發光，精光照耀！
阿利路亞，她正發光且照耀！
- 4 我們如何彰顯這合一，聖別並且照耀？
阿利路亞，喫主耶穌就是路！
祂是生命樹，是嗎哪，又是常新的筵席—
阿利路亞，我們天天都喫主！
我們合一藉著喫主！我們聖別藉著喫主！
我們發光藉著喫主！
阿利路亞，喫主耶穌就是路！

- 1 Oh, the church of Christ is glorious,
and we are part of it—
We're so happy that the Lord has made us one!
There's a Body in the universe
and we belong to it—
Hallelujah, for the Lord has made us one!
Hallelujah for the Body!
We are members of the Body!
We are wholly for the Body!
Hallelujah, for the Lord has made us one!
- 2 Not the individual Christians,
but a corporate entity—
God must have it for His full expression now;
Not just individual churches
but the Body corporately—
Hallelujah, we are in the Body now!
Hallelujah for the Body!
Satan trembles at the Body!
We're victorious in the Body!
Hallelujah, we are in the Body now!
- 3 There are seven golden lampstands
in the nature all divine—
Nothing natural does the Body life allow.
When we're one and share God's nature,
how the lampstand then does shine—
Hallelujah, it is brightly shining now!
Hallelujah for the Body!
For the lampstands of the Body!
For the golden, shining Body!
Hallelujah, it is brightly shining now!
- 4 How may we express such oneness,
be divine and shining too?
Hallelujah, eating Jesus is the way!
He's the tree of life, the manna,
and the feast that's ever new—
Hallelujah, we may eat Him every day!
We are one by eating Jesus!
We're divine by eating Jesus!
How we shine by eating Jesus!
Hallelujah, eating Jesus is the way!